

高瀬神社 社報

越中一宮

第57号

越中高瀬神社
一宮

平成 30 年 4 月 1 日

<http://www.takase.or.jp/>

撮影：南部スタジオ

「チカラの源」

ちなみと

宮司 藤井秀嗣

『新しいもの』

新しいノートを買った
「よし、きれいな字で書くぞ」

二日くらいたつと…だんだんいつもの字にもどってくる

「新しい」という中に
パワーがまつまっている

これはもう何年も前になりますが、全国紙の「こどもの詩」というコラムに載っていた小学五年生（当時）の詩です。

私は新年度が始まるこの時期になるとこの詩を読みかえして気持ちを新たにしています。また、新入社員に話す機会がある場合は、この詩をコピーして読んでもらっています。

私たちが大人も何となく感じ

ていることを上手に表現しているなあとつくづく感心しています。

新年度、新入生、新車、新築など新しいものや新しい事柄など、「新しい」ということに出合う機会があると、何かしらワクワクしたり、無性に力が湧いてきたりするものです。これから先の夢や希望がドンドン膨らんでくるかなのでしよう。何でも出来る、可能になるという気持ちになり、ヤル気も最大限となります。新しい年度が始まった頃は、このような空気が社会全体に広がって、活気のある雰囲気で充たされます。社会に活力を生み出す最大の要因がこの「新しい」ということだと思えます。

神社にとっても「新しい」ということは大切なことです。最たる事柄としては、二十年に一度行われる伊勢の神宮の「式年遷宮」。御正宮という一般の神社という御本殿を始め、調度品の細かなものに至るまで、全てを新しくして、大神様の御力を再生していただく儀式が執り行われます。

身近なことでは、初詣も新しい年を迎え、心身ともにリフレッシュして新たな一年が無事に過ぎるようにお参りする行事です。また、新しく自動車を購入すると新車修祓のお祓いをうけます。さらに、新しい家や建物などが完成すると竣工清祓式をします。

この様に神社は新しいという事柄に関わることが多くあります。こういう時は私たち神職も気持ちが晴れやかにになり、何かしら清々しい気持ちになります。「新しい」ということには本当にパワーがあるのだなと実感します。

前号で宮司就任のご挨拶をさせていただいた通り、まさしく、私も「新しい」一人でもあります。就任直後ということもあって、あれもやりたいこれもやりたいとヤル気に満ち溢れています。この詩にもあるように、数日たつと…その勢いも失せてくるかもれません。ちなみにこの詩の選者の評に「むかしは三日だったけど、今は二日くらいになっちゃったかなあ。『新しい』パワーの期限。」とあります。私のヤル気はどこまで続くのか心配ですが、なるべく長く続くよう努力しようと思います。要は常に「新しい」ということに関わる機会を得ることなのでしょう。

飽きやすく何をしてても長続きしないこと、また、そういう人をあざけて「三日坊主」といいますが、「三日神主」と言われないうちに注意しなければと気持ちを新たにしている今日この頃です。

祭事暦

節分祭

二月三日午後三時より「節分祭」を斎行しました。

祭典では祝詞奏上、神楽「剣の舞」奉奏に続いて、神職と巫女、責任役員、相談役が「福は内、鬼は外」の掛け声とともに「福豆」を撒きました。

百名をこえる参拝者は大国様の「福」をいただこうと、両手いっぱい広げて、熱心に福豆を集めていました。



紀元節祭

皇紀二六七八年と

なる本年、二月十一日午前十時より「紀元節祭」を行い、神武天皇の建国の偉業を偲び、我国の繁栄と世界の平和を祈りました。



した。本年も福野松風会（大聖寺弘会長）が建国を奉祝し、吟詠を奉納されました。

雪が舞う中の斎行となりましたが、吟詠の中には雪の情景を想わせる曲もあり、感慨深い奉納となりました。

奉納曲

【御本社】

「雪中梅を見る」

「春夕」

「弘道館にて梅花を賞す」

「花朝澱江を下る」

【功霊殿】

「新年雪裏の梅花に賦す」

「新正口号」

寺門静軒
佐藤一斎
徳川斉昭
藤井竹外
有智子内親王
武田信玄

元田東野

祈年祭(大祭)

二月十七日午前十時より、一年の五穀豊穡と産業発展、国家安泰を祈願する「祈年祭」が斎行され、氏子崇敬者約四十名が参列されました。

祭典では神楽「浦安の舞」の奉納に続き、井波松風会（斎藤彰岳会長）の吟詠が奉納されました。

奉納曲

「朝海」

「中庸」

昭和天皇御製

元田東野



鎮火祭

三月八日午前十時より「鎮火祭」を斎行し、氏子・地元消防関係者と火の恵みに感謝し、一年の無火災を祈りました。



本殿の祭儀の後、参集殿前にて「鎮火行事」を行いました。故事に倣い、長谷川禰宜と南砺市消防団井波方面団高瀬分団 笠田武司分団長が瓢の「水」を、森田松司部長が「川菜」を、中嶋範英班長が「土（砂）」を用

いて篝火台の火を鎮火し、滞りなく行事終了となりました。



名誉宮司・宮司就任を祝う会

去る三月十七日、富山市のANAクラウンプラザホテルにて「名誉宮司・宮司就任を祝う会（発起人代表・西田明男責任役員）」が開催されました。

県内外より百四十名の方々が出席され、神社本庁加藤治樹常務理事、出雲大社千家尊祐宮司、明治神宮中島精太郎宮司からご祝辞を賜りました。また、清興として、富山県神社庁雅楽部による御神楽「其駒」と、都山流尺八竹琳軒大師範の東海・煙山氏、ピアノニストの田裕貴枝氏による「お祝いの調べ」尺八・ピアノ演奏が花を添えました。



団体参拜日誌抄（平成三十年一月～三月）

平成三十年

一月

- 三日 福野糸瓜句会
- 四日 若林遺族会
- 十日 東となみ
ロータリークラブ
- 十一日 JAながの
- 十三日 高瀬高宝会
謡曲「右近」奉納
- 十四日 高瀬青友会
- 十五日 南砺市遺族会
井波支部
- 三十一日 JAながの

二月

- 一日 富山県電気工業工事
組合南砺支部
となみ野電設研究会
- 五日 熱美山参拝団
- 十八日 立正佼成会高岡教会
- 二十二日 味美老人クラブ連合会
- 二十五日 伊奈波神社
上杉千文宮司以下四名

三月

- 一日・七日・八日
JAめぐみの
中濃地域年金友の会

- 十日 クラブツーリズム
歴史への旅



- 二十五日 クラブツーリズム
- 二十六日 米原商事
- 二十九日 愛知県神社庁
尾北支部
(敬称略)

三八豪雪のこと

(権補宜 魚岸一弥 記)



平成29年冬の境内の様子

当地方では、近年暖冬が続いてきましたが、本年は、打って変って全国的に大雪の被害に見舞われる年となりました。特に二月上旬の北陸地方の積雪は、記録的なものとなり、七日には、福井市で『五六豪雪』（昭和五十六年東北地方から近畿地方までの広範囲を襲った豪雪）以来、三十七年ぶりに積雪一四七センチを記録し、国道八号線で、千五百台の車が立ち往生したことは全国に報道されました。当神社においては、積雪に

よる大きな事故はありませんでしたが、一部の御神木が折れるという被害をもたらしました。

大雪の年となると、先述の『五六豪雪』や、その前の昭和三十八年の『三八豪雪』が、比較され話題になります。実際に体験された方のお話を伺うと、本年は両豪雪には及ばないものの、近年では珍しい大雪であったことを改めて実感しました。

今回は、その『三八豪雪』について触れたいと思います。『三八豪雪』は、昭和三十八年（一九六三）一月に北陸地方を襲った大雪のことで、最深積雪は、富山一八六センチ、伏木二二五センチ、石動二八八センチ、砺波一三七センチ、利賀四〇〇センチ、魚津一三〇センチ、泊九三センチに達しました。

県内では、雪の重みで家屋に損害を与え、山間部では雪崩の発生や、雪捨て場となった用水や下水路の水が溢れ出した為、浸水の被害も相次ぎました。鉄道や幹線道路の機能の麻痺によ

る輸送力の停滞は、県民の生活や産業活動に大きな影響を与えました。なかには、平村（現南砺市）のように、交通・通信が途絶えた為、外部との連絡が絶たれて孤立状態になった集落もありました。政府は、一月三十一日に北陸四県に対し「災害救助法」を適用し、自衛隊や輸送機などによる救援体制がとられました。最終的にこの豪雪は、県内で死者二十一名、行方不明者一名、負傷者四十五名の被害を出しています。

この豪雪は、当神社にも大きな影響を与えました。昭和三十七年十二月二十五日より降り出した雪の為、二十九日の氏子総出の初詣準備作業が一部中止となりました。その為、初詣の準備が思うように進まず、社務日誌の十二月三十一日には、「人夫の人と力を併せて出来る限りの準備す。雪も三寸余り積る」とあるように、準備に従事された方々は、雪の中の初詣用の仮舎に使用する貨車用の黒シートを遠方より何回にも分けて櫛で神社に運搬されたということでした。

新年を迎えても参拝者は、皆無に近かったそうですが、その



社務日誌の1月27日のページには、「大雪の為拝殿功靈殿の除雪を行ふ」と記されている

状況に於いても、井波消防団の団長、団員が拝殿を警備され、氏子の川島岩雄さんが、神社から三キロ程離れた福野駅まで宮司を迎えに行って下さったということも記録にあります。また、初詣の奉仕巫女さんも保護者と一緒に来社されたそうです。各人ご自身の生活にも支障を来た大雪の中、ご助勢頂いたことに付き、当時の神職の記録には、「感謝に堪えない」と記されています。

平成三十年初詣



注連縄奉納講により、境内各所の注連縄が張替えられ、清々しく新年を迎えることができました。暖冬の昨年とは異なり本年は、雪の舞う三日となり、県内外より約十七万五千名が参拝されました。社頭には、新年初祈禱を受けられる方や、本殿前の「なでうさぎ」を撫でようと参拝者が列をなし、英霊をお祀り

する功霊殿にもたくさんの方がお参りされていきました。七十名の奉仕巫女さんたちは、清々しい笑顔で参拝者をお迎えし、大神様に代って福をお分かちしました。本年も南砺警察署をはじめ、関係各位のご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

平成三十年正月初詣句会

一月三日、福野糸瓜句会（梅島くにを会長）の「初詣句会」が開催されました。奉納句は次の通りです。

- | | |
|----------------|--------|
| 初神饌や三方に反る鯛二尺 | 梅島くにを |
| 二の鳥居くぐりて交す御慶かな | 瀧村 水峯 |
| 名水の村をつらぬく初明り | 宇波可津志 |
| 一列はなでうさぎへと初詣 | 名村 五月 |
| 御降や神楽太鼓の響く杜 | 波多 昌子 |
| 年用意手抜き加減も堂に入り | 宇野 恭子 |
| 諸人の二礼二拍手淑気満つ | 長谷 登世 |
| 御降の玉砂利を踏み一の宮 | 大浦 昌美 |
| お降りや朱の橋渡る蛇の目傘 | 今井 淳良 |
| 一の宮大注連縄の雪斑 | 中川 英堂 |
| 新玉の社標寂びたる深き彫り | 佐々木春子 |
| 人去りし天平遺跡初景色 | 武田東洋子 |
| 青き菜を浮かし朱の椀雑煮汁 | 高原 禮子 |
| 姉は父我れは母似や福寿草 | 五十嵐千恵子 |

初詣旅行

一月十七日より、氏子崇敬者の皆様と二泊三日の日程で、初詣旅行を企画し、淡路国一宮 伊弉諾神宮・阿波国一宮 大麻比古神社・備前国一宮 吉備津彦神社に正式参拝しました。各社において丁寧な待遇をうけ、有意義な旅行となりました。



阿波国一宮・大麻比古神社



一月催行
ということもあり、降雪が心配されましたが、影響なく、無事に帰着することが出来ました。



淡路国一宮・伊弉諾神宮



備前国一宮・吉備津彦神社



姫路城



倉敷美観地区

ご案内

はがた
歯固め石

当神社では、お食い初めの石「歯固め石」を授与しております。ご希望の方は社務所へお声がけ下さい。

※「歯固めの石」とは：

生後百日頃は、赤ちゃんの歯が生え始める時期です。お食い初めの行事では、赤ちゃんに石のように丈夫な歯が生える事を願う「歯固めの儀」を行います。この「歯固めの儀」で使われる石の事を、「歯固め石」と言います。



戌の日 (安産祈願)

- 4月 12・24日
- 5月 6・18・30日
- 6月 11・23日
- 7月 5・17・29日
- 8月 10・22日
- 9月 3・15・27日

腹帯のお祓いも行いますので
ご持参下さい。

「全国一の宮めぐり」を
ごみませんか？

「一の宮」は全国に約一〇〇社あります。平安時代、各地域で古くから崇敬を集め、神位も高く、由緒正しい神社が「一の宮」として定められました。「御朱印」はこのような神社を参拝し、各神社にお祀りされている大神様の御神徳をいただく為のものです。時間をかけて自分流に全国の「一の宮」を巡ってみたいかがでしょうか。



巾着袋

一五〇〇円



新ガイドブック

一〇〇〇円



ガイドブック

一〇〇〇円



御朱印帳 (小)

一三〇〇円



御朱印帳 (大)

三三〇〇円

※雲立涌柄(桃色)と青海波柄(青色)の二種類をご用意しています。

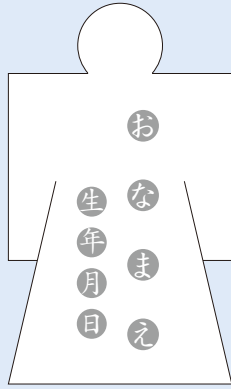
「平成三十年夏越の大祓」のご案内

日時 六月三十日(土) 午後三時より

水無月の夏越の祓する人は千歳の命のぶというなり

「大祓」は、知らず知らずのうちに犯した罪穢を半年に一度
祓い落として、元の清らかな心身に戻り、続く半年も無病息災
で過ごせるよう願う神事です。

拜殿にて「大祓詞」を奉唱し、各人が「人形」に罪穢を移し、
特に「夏越の大祓」は前庭に設けられた「茅の輪」をくぐり、
心身を清浄にもどします。これからの暑い夏を健康に乗り切る
ための大切な神事です。どうぞご参列下さい。



※ご希望の方には案内状と人形を送付いたしますので、
社務所までご連絡下さい。



第十九回 人形感謝祭のご案内

日時 七月十五日(日) 午前十時より

古くなった人形に感謝し、神社へ納めるお祭り「人形感謝
祭」を行います。納められた人形はお祓いの後、お焚き上げ
をしてお別れします。子供の
成長とともに使わなくなった
り、壊れたりした「人形」や
「ぬいぐるみ」をご持参下さい。

受付

午前九時から午前十時まで
(当日のみ受付)

祈願料

三千円からご志納願います(みかん箱一つ程度)。

※大量にある場合や大きなものについては、事前に社務所
へお問い合わせ下さい。



第十八回 人形展(一期一会)
七月十四日(土)～十六日(祝) 開催
「午前十時～午後四時」

一 今月の言葉

毎月社頭にて配布しています。
先人の名言や格言は、現代に生きる我々に教訓を与えてくれます。
お参りの際、手にとつてお読み下さい。



社頭にて配布しています



AED (自動体外式除細動器) 救急講習



三月十三日、石岡敬夫責任役員よりAED (自動体外式除細動器) を奉納頂きました。奉納当日、南砺消防署東分署のご担当による救急救命講習を受講しました。

奉納

○AED (自動体外式除細動器) 責任役員

石岡 敬夫 殿



○木彫刻「望む」

川原 和夫 殿

宮司就任祝いとしてご奉納頂きました。



○古代米「御神稲」

富山市婦中町

松田 久男 殿
池田 栄蔵 殿

○千早 三領

元巫女

井元梨恵子 殿

辞令

藤井秀嗣

宮司を命ずる

平成二十九年十二月一日

藤井秀弘

名誉宮司を命ずる

平成三十年一月一日

平野加奈

結婚式事務員を命ずる

平成三十年二月一日

木下咲夢

山田瑠菜

見習巫女を命ずる

平成三十年四月一日

辻 百華

結婚式事務員を命ずる

平成三十年四月一日

井元梨恵子

願により巫女を免ずる

平成三十年三月三十一日

編集後記

今年も早三ヶ月が過ぎました。年始の折、氏子崇敬者の皆様を始め、多くの方々にご助勢賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、本年も各地より多くの方々にご参拝頂きました。

年明けから豪雪という自然の猛威を目の当たりにしましたが、本年が自然災害の無い、平穏な一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

各種お問い合わせにつきましては、社務所へご連絡下さい。
(0763) 821-0933

社報バックナンバー

当社社ホームページで
ご覧頂けます。

【表紙写真】 春の光

越中一宮 高瀬神社 ブライダル

縁結びの神様に誓う
 伝統の結婚式を挙げていただく、
 一生に一度の日だからこそ、
 一日一組のカップルの為だけに、
 このバンケットは生まれました。



一日一組限定の

おもてなしバンケットホール

このバンケットホールでのご結婚披露宴のご予約を承っております。
 お気軽にお問い合わせ、ご相談いただきますよう、お待ち申し上げます。

只今
 秋・冬の婚礼
 ご予約
 受付中

縁結びの神様のもとで幸せのお手伝いをしてみませんか

やさしいあなたの力を必要としています



土・日・祝日の空いた曜日だけ! 事前にシフトを決めて働きましょう!!

未経験者歓迎! 丁寧に教えます!

仕事内容 結婚式・披露宴でのサービス業をご担当いただきます
 勤務時間 土・日・祝日/9:00~18:00の間(披露宴時間による)
 勤務地 南砺市高瀬291 高瀬神社内
 給与 時給1,000円以上 研修30hは時給900円
 待遇 制服貸与 食事手当500円

月単位のシフト制なのであなたの都合に合わせて働けます

高瀬神社 ブライダル事業部
 TEL (0763) 82-1131 中井 面接随意・先ずはお電話を

あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
 ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社 🔍 検索